

1200万署名・NPT代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03 5842 6031 FAX:03 5842 6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年11月5日 No.12 NPTまであと179日

栃木
茂木町

全ての区長さんを訪問。里山で核署名が話題に

栃木県芳賀郡茂木町。町内を流れる那珂川は鮭が遡上することでも有名です。人口1万5000人のこの町で署名が広がっています。8月の世界大会に同町から参加した河又誠一さんと星徹夫さん(町会議員)の2人は、町民の1割、1500筆を集めることを決意。まず区長会長に署名の協力をお願いしたところ、気持ちよく協力をいただきました。その後、町内22人の区長宅を次つぎ訪問し、署名への協力をお願いしました。各区長さんからは、「どこにもっていく署名?」「NPT再検討会議ってどんな会議?」「だれが集めているの?共産党?」などの質問がたくさん出されましたが、一つひとつ丁寧に答えて解決。オバマ大統領のノーベル平和賞授賞も話題となり、励ましの言葉もいただきました。区長さんから河又さんの自宅に電話が次つぎ入り、河又さんは車で署名用紙をうけとりに出かけています。数日で100筆以上が寄せられています。

全労連が単産委員長・議長連名アピール

来春のNPT再検討会議まで半年を切り、1200万署名達成への飛躍が求められています。組合員一人5筆、500万署名をめざす全労連は、加盟単産の委員長・議長の「連名アピール」を発表しました。これを契機に11月から署名の大きな前進をめざしています。「アピール」は、世界の流れが核兵器廃絶の方向へ大きく動きだしているもとで、現在の国連審議でも、オバマ大統領の誓約にもかかわらず、核兵器廃絶の期限や具体的道筋について何も示されていないこと、米、英、仏などは核兵器廃絶の交渉開始を求める決議にも引き続き反対票を投じており、核兵器廃絶を求める世論と運動を大きくすること重要な課題となっていることを指摘。職場では、組合員はもちろん、上部団体の違いをこえ、未加入者、管理職など多くの人びとととりくめる運動としてよびかけ、毎月6-9のとりくみ集中期間に行動をおこそうと訴えています。

目標の2倍のNPT要請行動代表団に

11月21日には結団式を兼ねた署名推進・経験交流会議を開催 岡山

岡山県原水協は前回(2005年)に7人の代表が参加しました。今回はその倍15人の目標を提起して「仮申込」を受け付けましたが、労働組合、民主団体、地域原水協、個人から30人の申請があり、目標の2倍に。さらに増えそうな状況です。平井昭夫・県原水協事務局長は「大きな流れの変化の中で関心が高まっていることの反映」と分析しながら、これを署名推進につなげたいと話しています。その手始めに、11月21日には、結団式を兼ねた「署名推進・経験交流組織代表者会議」を開いて、代表団の役割や情勢を学びます。12月6日には代表団を先頭にした街頭署名行動(6・9行動)を行った後、川田忠明さんの講演会(岡山県労働者学習協会主催)に参加することにしています。

「核兵器のない世界を」署名の10月末の集計では総数が39804筆で、20万目標の19.9%。代表団を先頭にした運動の飛躍や地域ぐるみのとりくみも検討しています。そうした中で、笠岡市と高梁市では、市長とも懇談して「地域ぐるみの署名運動」に向けた準備がすすめられています。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>
携帯電話からもアクセスできます。